

特色ある教育課程の編成と実施

特色ある教育課程の編成・実施にかかわる校長のリーダーシップ

I はじめに

各学校では、それぞれの教育活動をすすめるに当たり、生徒の「生きる力」をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開している。その中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力をはぐくむとともに、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めているところである。

その際、学校や地域や生徒の実態に応じて、いかに適切な教育課程を編成するかが重要である。そこで、校長は学校や地域の実態等に応じて学校教育目標を設定し、それぞれの学校が抱える課題や保護者や地域の学校への思いを大切にしながら、その具現化に取り組む必要がある。

東山梨地区8中学校では、本地区の特色ある教育課程の編成と実施にふれながら、それにかかわる校長のリーダーシップについて考えてみることにした。

II 研究の概要

1 研究のねらい

東山梨中学校8校の教育課程編成・実施の現状を把握し、校長としての役割を整理し、特色ある教育課程編成・実施にかかわる校長のリーダーシップを明らかにする。

2 1年次の研究計画

①研究内容と方向性及び研究計画の確認、②各校の現状実態調査、③校長の役割について意見交換、④校長のリーダーシップについて意見交換。

3 1年次の研究内容

(1) 実態調査の中に出てきた「校長の役割」を次の5つに分類してみた。

①明確なビジョンの提示と共通理解を図るための工夫、②教職員とのコミュニケーションづくり、③校長としてのリーダーシップの発揮、④学校評価の積極的な公表、⑤その他。

(2) 実態調査の中に出てきた「校長のリーダーシップ」についてあげてみた。

○課題を明確にし、その課題解決に向け具体的な方向性を提示すること。○学校評価から課題、改善事項を明確にすること。○不動の理念を持つこと。○経営理念を確立すること。○人的環境を充実させること。○励ましや的確な助言をすること。○率先垂範。○組織（チーム）としての職員集団づくりをすること。○保護者、地域と連携し、説明責任を果たすこと。○関係機関との連携強化を図ること。○「この人について行きたい」という資質・能力（統率力・指導力）

(3) 東山梨中学校校長会の考える「特色ある教育課程編成・実施にかかわる校長のリーダーシップ」について次のようにまとめてみた。

私たちは、東山梨地区8中学校の教育課程編成・実施上の特色として、①教職員の組織的な取り組み、②学習規律の確立、③集団づくり、④部活動の活発化をあげてみました。

そして、「校長として確固たる経営理念を持ち、経営ビジョン、課題意識を教職員と共有し、また保護者、地域、関係機関と連携しながら、目標達成に向かっての取り組みを計画的に組織すること」を校長のリーダーシップと考えた。

(4) 東山梨地区の具体的な取り組み

ア、教職員の組織的な取り組み

○校内研修を充実させ、教職員の専門性と資質の向上を図る。○運営委員会による校長のビジョンの確認と共同体制づくり。○適材適所の校務分掌づくり。

イ、学習規律の確立

○授業の始めと終わりの時間厳守。○あいさつの励行。○正しい姿勢で話を聞くこと。○授業時の約束を決め教室への掲示。○授業者による授業の評価の実施。

ウ、集団づくり

○生徒会活動、学年学級活動の実施。○校内陸技会の実施。○校内強歩大会の実施。○系統的な学年行事の実施。○充実した学園祭の実施。

エ、部活動の活発化

○職員会議で「部活動観」の確認。○生徒会活動として位置づける。○全員入部制をとる。○時間の厳守。

III まとめと課題

1 県校長研究集会での協議内容

学校教育目標を変えたことについて、また集団づくりで宿泊学習をしているが、その内容についての質問があった。

宿泊学習の持ち方を中心に話が進み、旅館を利用して職場体験の宿泊学習を行い、修学旅行につなげている例などの紹介があった。

2 県校長研究集会での助言

今の学校は、組織として機能することが難しくなっている。校長は管理するだけでなく横のつながりを大切にすることが必要である。また、校長がビジョンを明確にすることが何より大切である。東山梨中学校校長会の研究については、「校長として」を研究の中心に据え、校長の役割を分類・整理したことは成果である。国などの方針があり、特色を発揮しにくいのが、リーダーシップを4点に着目し整理したことは共通認識が深まりよいと思う。

3 今後の課題

2年次は、各校からの事例発表を通して、リーダーシップについて研究を深める。

(部長 金井 弘)